



大阪大学 全学教育推進機構

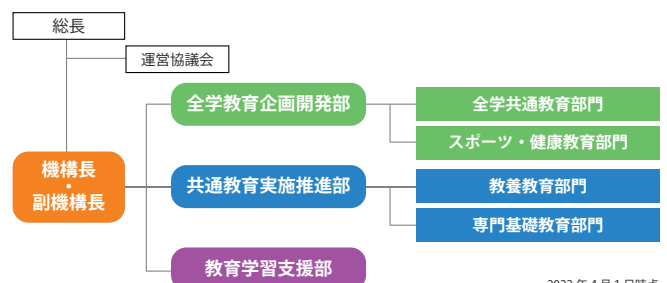
Center for Education in Liberal Arts and Sciences



全学教育推進機構とは

大阪大学全学教育推進機構は、大阪大学の全学を対象とした教育プログラムを企画・運営する組織です。学ぶ姿勢を身に着け、国際性豊かな教養と専門への基礎を育む低学年向けの科目から、分野の壁を越えて視野を広げる高学年向けの横断型教育まで、多様な教育プログラムを企画運営しています。

組織



2022年4月1日時点

全学教育企画開発部

本学の教育目標「教養」「デザイン力」「国際性」を身につけた学生を育成するため、最高水準の教育の企画開発を行います。

全学共通教育部門

先進的な教育プロジェクトの調査研究、学習達成状況の調査や授業のアンケート等を通じて、全学共通教育の質保証とカリキュラム改善に取り組んでいます。

■ 学生にむけた授業評価アンケートの実施

学務情報システム KOAN を利用し、授業改善に役立てています。

■ クラス代表懇談会の開催

1年次生のクラス代表と当機構等の教職員との懇談会を年2回実施。授業・カリキュラムや学習環境などについて学生の意見・要望を聞き、より充実した共通教育のために活用しています。



■ 少人数型教育・対話型教育の拡充

「学術的文章の作法」や「Discovery Seminar：はじめてのリサーチ」など、対話型・少人数型・問題解決型学習の拡充に取り組んでいます。また、これを高大接続教育活動に繋げています。

スポーツ・健康教育部門

健康・スポーツ教育のプログラムを開発し、体力と健康の増進、学生の健康知識とライフスタイルの向上を目指します。また、学生や教職員向けのスポーツ活動の支援・指導も行います。

■ ヘルスリテラシー型健康教育の実施

健康・スポーツ教育科目では、ヘルスリテラシー型教育を実施し、センシング技術やICTを用いて学生の身体・心理状態を定量的に評価します。科学的データに基づく教育効果の可視化、学生自身の問題解決能力を育成する実践を通じて、知的体力・身体的体力をバランスよく育成する身体性教育の未来を探求しています。

■ スポーツ・運動教室等の開催

剣道、バレーボール、ノルディックウォーキング、テーピング講習会など、学生、教職員、地域住民を対象とした各種スポーツ・運動の大会や教室を開催しています。



共通教育実施推進部

全学共通教育のカリキュラム策定を行うとともに、授業実施・運営上の業務を実施します。

教養教育部門

教養教育において、学部入学直後から主体的に学ぶ態度を身につけ、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、知性・感性と身体との調和を図り、豊かな人間性を育むことを目標とし、教養教育科目を実施するために指導的および調整的役割を果たします。

専門基礎教育部門

専門教育につながる基礎的概念や方法を修得・理解し、社会変化や科学技術進歩に対応できる能力を育成することを目標とし、専門基礎教育を実施するために指導的および調整的役割を果たします。

各部門には分野ごとの部会が置かれ、実務運営、カリキュラムの設定、授業担当教員のコーディネート、授業の検証と改善、TA・TFの管理と運営を行います。

教育学習支援部

「教養・デザイン力・国際性」を備えたグローバル人材の育成に向けて、教育支援機能、キャリア開発機能、学習支援機能の強化を推進することにより、主体的な学びによる教育の高度化を全学的に実現します。

■ 大学教職員向け教育能力開発研修 (FD、SD) の企画・実施

「シラバスの書き方」「アクティブラーニングを促す方法」「オンライン教材」など、授業改善のためのセミナー等を提供しています。

■ 将来大学教員を目指す大学院生向け授業 (プレFD) の実施

大学院生向けの高度副プログラムとして、「未来の大学教員養成プログラム」(FFP: Future Faculty Program)を開講しています。

■ オンライン教材の開発

MOOCs (大規模公開オンライン講座) を配信しています。また、撮影・編集機材を備えたスタジオでの教材作成を支援しています。



全学共通教育（学部生対象）

大阪大学「全学共通教育（1～2年次）」概要

1年次

学問への扉（マチカネゼミ） アドヴァンスト・セミナー

基盤教養教育科目

情報教育科目

健康・スポーツ教育科目

専門教育系科目

専門基礎教育科目

2年次

高度教養教育科目



阪大「ワニ博士」

■「学問への扉」（通称：マチカネゼミ）

新入生全員が受講する、少人数クラスによる学びの基礎科目です。異分野の学生とも交流しながら、多様な視点や課題解決の道筋を学ぶことを目的とします。また、この科目においては、レポートやプレゼンテーションなどのアカデミック・スキルの指導も取り入れ、学生の発信力を高めることを目指します。

■アドヴァンスト・セミナー

「学問への扉」を履修した学生を対象とし、1年次秋学期以降に開講される科目です。フィールドワーク、インターンシップやセミナー等、学生の主体的な学習を重視したアクティビティ科目です。

■基盤教養教育科目

大学生に適した知性を最初に育むための科目です。専門外の学生にも最先端の研究成果を分かりやすく伝え、知的営みの魅力や新たな知の地平を切り開く感動によって、知的世界に誘うことを目的としています。また、現代社会の諸問題への関心と解決へ向けた意欲を喚起し、基礎的素養、知識、能力の修得を目的とします。この科目には、「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」及び「総合型科目」の区分があり、学部によって、基盤教養教育科目のうち各学部の専門に関連する科目を「専門教育科目」として指定している場合があります。

■高度教養教育科目

専門分野以外にも視野を広げ、「複眼的」かつ「俯瞰的」な視点を持った人材を育てること、及び修得した知識を社会における課題解決に応用できる能力（高度汎用力）を養成することを目的としている科目です。

※その他、「コミュニケーションデザイン科目」、各学部が開講する専門教育科目のうち他学部学生の履修を認める科目なども履修可能な場合があります。

■情報教育科目

高度情報化社会の構成員としての大学生にふさわしい、情報社会・情報科学の原理、本質、価値、可能性、限界等を理解し、これを使いこなす対応力を修得することを目的とします。

■健康・スポーツ教育科目

健康と体力、そして身体運動に関する幅広い知識を修得し、自主的、合理的に生涯にわたって自身の健康管理と運動、スポーツ活動を行うための教養と実践力を学ぶことを目的として開講する科目です。

■専門教育系科目

■専門基礎教育科目

各学部が規定する専門教育系科目として、専門分野の基盤となる学問を学びます。

「統計学」「数学」「物理学」「化学」「生物学」「地学」「図学」の各分野からなっています。

※このほかに国際性涵養教育として、マルチリンガル教育科目（マルチリンガル教育センター開講）を提供しています。



大阪大学
OU-SDGs
プログラム

OU-SDGs プログラムは、複雑化する社会課題の解決に貢献し、「いのちを大切に、一人ひとりが輝く未来社会」の実現に資する人材を育成する学部教育プログラムです。学部初年次段階から履修できる SDGs 関連科目群を設定し、この中から所定の単位数を修得した学生に対して修了認定証を授与します。

詳細は特設サイトをご覧ください。

<https://ou-sdgs.celas.osaka-u.ac.jp/>



■『大阪大学高等教育研究』（年1回刊行）

大阪大学の高等教育に関する研究成果、教育実践報告などを発表する学術誌です。学術論文、教育活動に関する報告レポートなどを掲載しています。

※投稿規定やバックナンバーは機構 HP に掲載しています。



学習環境の整備：ステューデント・コモンズ、サイエンス・コモンズ

ステューデント・コモンズにはカフェや本棚、プロジェクタ等が設置されており、学生同士、あるいは学生と教職員との対話、学生・教職員企画のイベント、留学生との交流など、様々なイベントに利用されています。サイエンス・コモンズでは、すべての学生が科学に触れることができるよう、実験設備や機器の整備を進めています。自主学習や研究に自由に使うこともできます。



コモンズ1階のカルチエ&カルチエ・ミュルチラングは中庭に面したオープンなスペースです。普段は食事や自主学習、グループワークなどに活用されています。外にはテラスもあり、開放的なイベントの開催も可能です。ミュルチラングでは、授業期間中の昼休みに、日替わりで英語、中国語、朝鮮語、ドイツ語、スペイン語、フランス語などの留学生による多言語カフェを開催しています。

コモンズ2階には授業や学内のイベントに使用できるセミナー室を設置しています。プロジェクタや壁面ホワイトボードに加え、グループワーク用の小型ホワイトボードや可動式の机・椅子によって、多様な形態の授業が可能です。

アクティブラーニング教室の整備：ICT 支援型協働学習教室

HALC (Handai Active Learning Classrooms) は、ICT を活用するアクティブラーニング型の授業に適した新しい教室であり、可動式の椅子、机、ホワイトボード、および1人1台のiPadによって、多様な学習形態をサポートしています。また、プロジェクタ投影可能な全面ホワイトボードで板書と投影を融合した授業も可能です。



Access

阪急電鉄宝塚線 石橋阪大前駅から徒歩約15分
大阪モノレール 柴原阪大前駅から徒歩約15分



全学教育推進機構
ホームページ

全学教育推進機構
フロアマップ



全学教育推進機構
News Letter

詳しくは
こちらから
ご覧ください



阪大「ワニ博士」

大阪大学全学教育推進機構

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-16
TEL: 06-6850-5605 FAX: 06-6850-5613
E-mail: zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp
https://www.celas.osaka-u.ac.jp/